

2013 12月

7日 日遊協第3回「パチンコ産業合同説明会」(1月号)  
東京ビッグサイトの(株)リクルート「スタートアップLIVE東京」に「パチンコ業界特集」のブースを出展、603人の学生を集めた。

2014 1月

9日 「2013年ファンアンケート調査」の結果公表(2月号)

レジャー志向型ファンの増加、依存問題への関心向上など、お客様の意識の変化が浮かび上がった。

23日 警察庁が消費税増税に関連する措置について見解(2月号)

遊技料金への転嫁方法、表示方法などホール関係5団体の質問に回答。

24日 警察庁が風営法施行規則の一部改正案を公表(2月号)

4月1日の消費税引き上げに伴う改正。遊技料金の定義が消費税を含んだものとなった。

28日 21世紀会が「宣言2014」を発表(2月号)

「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」をスローガンに、①遊技機の開発 ②ホール環境の構築 ③PR活動の実施——を3本柱としている。

2月

5日 警察庁がホールでの置引きの発生防止を要請(3月号)

置引き全体に占めるホールでの発生割合が上昇。

14日 第10回人材育成フォーラム(3月号)

平成26年度の就職解禁時期変更の対策で講演が行われた。

26日 第3回遊技産業新経営者会議(3月号)

「2020年業界の目指すイメージと妨げる壁」など4テーマで発表を行った。若手経営者・幹部33人が出席。

3月

7日 警察庁が「2013年風営白書」発表(4月号)

ホール数全体は18年連続の減少で、1万2千店の大台を割った。

4月

1日 日遊協が一般社団法人に移行(4月号)

25日 パチンコ&パチスロフェスタ2014(5月号)

25・26日はベルサール秋葉原で「体験機」試打、特別セミナー等に業界関係者と一般ファン計3879人が訪れた。26・27日は千葉・幕張メッセの「ニコニコ超会議3」にブースを出展し、初心者を含めた3150人が「体験機」の試打を楽しんだ。

25日 遊技機アワード2014表彰式(5月号)

パチンコ、パチスロで大賞、特別賞の各表彰があった。

25日 21世紀会に遊技産業活性化委員会が発足(5月号)



7月号 庄司孝輝会長2期目スタート  
6月5日の第25回通常総会で「業界の健全化」の取り組みを強調した庄司会長と(左から)副会長の福井 章、大久保正博、山田久雄、谷口久徳、筒井公久、兼次民喜、韓 裕、和久田守彦の各氏(右端は新任の林 和宏監事)



5月号 パチンコ&パチスロフェスタ全景  
試打会場は人、人、人で大にぎわいとなった



1月号 パチンコ産業合同説明会  
説明に聞き入ったあと、拍手をする満員の学生たち

# 日遊協と産業界 本誌に見るこの1年

## 「活性化」へ具体的な展開 強力に取り組む「依存問題」

# 日遊協とパチンコ・パチスロ業界の、広報誌に見るこの1年

「宣言2014」に基づき、遊技産業の再上昇を目的とする。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商の6団体で構成。

13日 「第4回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」(6月号)  
エッセー、絵手紙各13編の入選作が決定。

16日 「仙台共生の森」第2回植林を実施(6月号)  
仙台空港東側の国有林0・17ヘクタールでクロマツ777本を植林。

17・18日 宮城県南三陸町にボランティア隊(6月号)  
東京都・関東支部を中心に26人が農業支援作業。

23日 第4回遊技産業新経営者会議(6月号)  
「企業の危機管理」など2つの講演を行った。

5日 第25回日遊協通常総会(7月号)

庄司体制2期目がスタート。警察庁は講話で過度の射幸性、のめり込み、不正改造などに関して厳しい指摘をした。

24日 全日遊連の新理事長に阿部恭久氏。(7月号)

18日 第11回人材育成フォーラム(8月号)  
「女性活躍の集大成」で講演とディスカッション。

24日 沖縄・豊見城署が「車内放置」乳児死亡事故で母親を逮捕(8月号)  
6月10日発生。日遊協、全日遊連が防止対策徹底を呼びかけ。

30日 第5回遊技産業新経営者会議(8月号)  
ネットワークゲームをテーマに講演。

3日 「パチスロの日」回胴祭2014(9月号)

4日 日本生産性本部が「レジャー白書2014」発表(9月号)  
パチンコ・パチスロの参加人口は970万人に、市場規模は18兆円台にそれぞれ縮小した。

13日 パチスロで「認知症予防」臨床実験開始(9月号)  
筑波大学附属病院で、認知力アッププログラムのプログラムにパチスロ機

の目押し作業を導入した。

22日 警察庁が内閣府令改正案を公表(9月号)  
風俗営業店の従業員名簿に関して本籍(外国人の場合は国籍)記載の義務付けを削除。10月17日に施行された。

8日 遊技産業活性化委員会の下に2WG発足(10月号)  
「遊技機検討」「遊技産業PR」WGのメンバーが決まった。

9日 九州支部の「9・9クリーンデイ」に各支部が参加(10月号)



11月号 子ども自然塾  
ノコギリで間伐作業  
お母さんに手伝ってもらって  
ギーコ



9月号 パチスロ機で認知症予防  
デイケアスタッフや  
委員会メンバーの手ほどきで  
パチスロを楽しむ軽度認知症の人たち



11月号 依存問題PT  
関係5団体からのオブザーバーが参加し、  
活性化委員会・依存問題WGに

## 9月

9日 広島土砂災害地の復興支援で、6日間ボランティア派遣(10月号)  
中国・四国支部が9月9、10、11、16、17、18日に延べ150人を派遣。

12日 「人材育成フォーラムin九州」開催(10月号)  
初の地方開催で、九州地域の経営者・幹部計49人が参加。

26日 「ラスベガス・シアトル研修2014」(11月号)  
10月1日まで。一行38人。

30日 皇居勤労奉仕(11月号)  
36人が10月3日までの4日間奉仕活動を行った。今年が5年目。

## 10月

2日 依存問題PTに他団体オブザーバーが初参加(11月号)  
全日遊連など5団体から9人がオブザーバーで出席し、21世紀会の

「依存(のめり込み)問題WG」を兼務。

25日 「子ども自然塾」を開催(11月号)

埼玉・嵐山町「共生の森」で家族連れ50人を含む85人が参加した。

30日 「第6回日遊協親睦チャリティーゴルフコンペ」(11月号)  
太平洋クラブ成田コースで、日遊協、関係団体等から184人が参加。

## 11月

20日 「第8回遊技産業マネジメント・カレッジ」開催(今月号)